

(指定様式)

団体調書【はじめの一歩部門】

(1) 団体概要

団体名	Team.S@とよた	HP 等 URL	https://teamesutoyota.wordpress.com/
団体種別と設立年月	<input type="checkbox"/> NPO 法人 (年 月) <input type="checkbox"/> その他法人 (年 月) <input checked="" type="checkbox"/> 任意団体 (令和 2年 4月)	活動分野	男女共同参画社会の形成の促進を図る活動、ほか
代表者名	役職名： 代表 氏 名： 金原 良平	会員数	7 名
団体連絡先(申請担当者)			

(2) 会員名簿

（この欄は会員登録用の入力欄です。）

(3) 団体の活動目的

活動の目的・目標	LGBTs (レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、多様な性を生きる人々)、多様なセクシュアリティ、性指向と性自認 (SOGI)、性表現、性別違和の有無に関わらず、 市民一人一人がセクシュアリティフリーで多様な生き方のできる豊田市の実現
活動の内容・活動実績	①交流会の主催 （偶数月第4土曜、豊田市内またはオンラインで開催。過去16回実施。令和3年12月開催時に中日新聞紙面掲載） ②講演会の主催 （過去3回開催。3回とも中日新聞紙面掲載） ③ライブ配信 （豊田市から性の多様性を随時発信。豊田市ファミリーシップ宣言にちなんだ配信等で、これまで3回中日新聞紙面掲載） ④イベント参加 （とよたつながる博、市民活動フェスタ、さんかくフェスタ等の市内イベント参加。スポーツ試合開催時にとよた男女共同参画センターさんの LGBTs・性の多様性の啓発ブースに出展協力） ⑤相談・支援 （市民からの問い合わせに随時対応） ⑥その他 （代表の所属企業内での理解促進（ボランティア賞受賞）等）

(4) 補助金の使用使途と活用する活動・事業内容など

LGBTs／性別違和に関する豊田市内の医療機関等の情報発信（計 50,000 円）

令和 4 年度に当補助金（1 年目）を活用し、とよた男女共同参画センター様、豊田加茂医師会様のご協力頂き、豊田加茂医師会登録の約 230 の医療機関を対象に LGBTs、性別違和に関する医療機関調査を実施し、令和 5 年 2 月 25 日の講演会で結果報告した。

2 年目は、調査結果を広く豊田市民へ広報するため、性同一性障害（トランスジェンダー）をテーマとした映画（『片袖の魚』を予定）の上映会を企画し、映画というエンタメコンテンツと併せて医療機関調査の結果を周知することで広報効果を高めていく。

・消耗品費：10,000 円（文具、コピー代）

上映会時の資料、文具等

・報償費：40,000 円（講師謝礼）

上映会時のトークショーで映画の制作関係者に登壇いただく際の講師料

(5) 審査項目毎にアピールしたいこと

<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・社会課題に対して、団体の活動目的が明確となっているか。（趣味や娯楽、特定の個人や団体の利益が目的となっていないか）	<p>＜解決したい課題＞ 必ずしも豊田市内の医療機関が LGBTs や性別違和には対応しておらず、性別違和を抱える当事者は自ら医療機関を探す必要があるが、問い合わせて何件も断られた結果疲弊して探すのを諦めたり、費用をかけて市外のクリニックを受診したりしており、豊田市での生きづらさの一因になる。 ＜解決への効果＞ 必要な医療を市内で受診できれば「諦め感」が減り当事者の豊田市での生きづらさが低減される。また、医療機関側でも実施されていること／難しいことも併せて当事者以外の市民にも周知することで、LGBTs や性の多様性に関心を持つ市民とつながり、生きづらさを低減するきっかけを創出する。</p>
<p>【資金】</p> <ul style="list-style-type: none">・団体の自主的な財源を確保しようとしているか（会費・参加費等）。	<p>複数のチャネルで活動資金を確保。</p> <ul style="list-style-type: none">・会員からの寄付や助成金の確保・他団体主催の講演会登壇による講演料収入・講演会の企画等、事業の受注による事業収益・各種表彰による受賞賞金（代表の所属企業等）・他団体設立・運営支援時の報酬・謝礼等
<p>【継続性】</p> <ul style="list-style-type: none">・団体の組織的な活動ができる体制が整っているか。・適正な事業計画が作成されているか。	<p>代表は 10 年前に名古屋市で LGBTs 支援の NPO 法人の設立に参画し相談支援や法人運営経験（5 年）を持つ。さらに、広報経験や社会福祉や医療に従事するメンバーもあり、社会資源調査等の推進と周知に必要な専門スキルを持つ人材が揃う。</p> <p>毎月 1 回、メンバーで運営ミーティングを開催し事業推進。年次総会に合わせ NPO 法人の基準に従い事業報告・計画、活動計算書・予算書を毎年作成し、運営の透明性や正当性を確保。</p>